

■プラン名:

生成AIを活用した探究的な学びと学校 DXを推進する教員研修プラン

■企業名:

株式会社みんがく

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

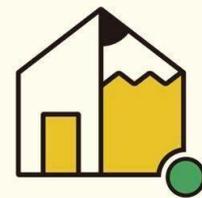
3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置

6. 特別支援学校の学びの充実

【教育×テクノロジー】で現場課題と向き合う



みんがく

～次世代の教育のスタンダードを創る～

●概要

情報Ⅰ（１）情報社会の問題解決

情報Ⅱ（５）情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究

総合的な探究等全ての項目※本研修は総合探究のみならず教科の授業も探究的にするための研修です

生成AIを活用し、教員一人ひとりの実践を起点に学校 DXを進める研修

本研修は、生成AIを活用し、教員一人ひとりの授業実践を起点に学校 DXを進めることを目的とした、半年間の教員研修プラン（全9回）です。

全国で探究的な学びや生成 AI活用を先進的に実践している教員から 研修を受けながら、

情報Ⅰ・情報Ⅱおよび総合的な探究の時間を中心に、授業設計・評価・振り返り等での生成 AI活用を実践的に学びます。

研修の最終段階では、オンラインイベントに登壇し、自身の成長や今後の挑戦について発表 することで、

学びを振り返り、決意を新たに次の実践へと踏み出せる教員の育成を目指します。

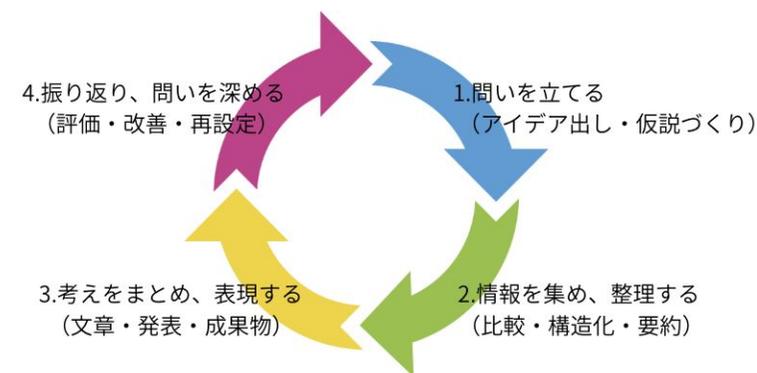
<対象>

- 情報Ⅰ・情報Ⅱを担当、または今後担当予定の教員
- 総合的な探究の時間において、探究的な学びを推進したい教員
- 生成AIを授業や評価、振り返りに活用したいと考えている教員
- 教員一人ひとりの実践を起点に、学校 DXを進めていきたい中核教員・若手教員

<期待される効果>

- 生成AIを活用した探究的な授業設計・評価・振り返りを自ら実践できる教員の育成
- 全国の先進実践に触れながら学ぶことによる、視野の拡張と自己成長の実感
- 教員一人ひとりの実践が校内に波及する、学校全体での DX推進力の向上

生成AIとともに回す、
探究的な学びのサイクル



研修で使用するAI

【総合・探究】探究プロジェクト計画

子どもたちのプロジェクトの立案～計画までをサポート



はじめる

【総合・探究】探究の情報の収集サポーター

探究学習に必要な情報を特定し、効率的かつ多角的に情報を集める



はじめる

【国語】小論文添削

生徒が書いた小論文を添削し、改善点を指摘してもらう



はじめる

【全科目共通】授業振り返り

授業後に学びを深めるために生徒自身が学習を振り返るためのモ...



はじめる

💡 全国の先進的な実践を行う教員から学ぶ、半年間の継続研修

- 探究的な学びや生成AI活用を先進的に実践している全国の教員による研修
- 単発ではなく、半年間を通じて学びと実践を積み重ねる設計
- 情報Ⅰ・情報Ⅱ・総合的な探究の時間に直結する実践的内容

🛡️ 生成AIを活用した授業設計・評価・振り返りを重視した実践型研修

- 生成AIを「考える相棒」として活用する授業設計の学習
- 探究的な学びにおける評価・振り返りへの生成AI活用
- 研修で学んだ内容を自校の授業に持ち帰り、実践につなげる構成

👥 個人の実践を起点に、学校全体のDXへと広げる仕組み

- 教員一人ひとりの実践を重視した研修設計
- 最終オンラインイベントでの登壇・発表による学びの言語化と決意形成
- 個々の実践が校内に波及し、学校全体のDXにつながる構造

●参考価格

項目	内訳	小計(税込)
研修費用	1名あたり	150,000円
		合計150,000円

【留意事項】※まずはお問い合わせください

- 東京での現地研修は受講者の交通費、宿泊費がかかります。
- 本研修は、**教員一人ひとりの主体的な参加と実践を前提**とした研修プランです。
- 研修内容は、参加教員の担当教科や学校の教育課程に応じて、**自校の授業実践に落とし込むことを想定**しています。
- 半年間の継続研修のため、**計画的な参加と校内での理解・共有**を推奨します。
- 最終のオンラインイベントでの発表は、**自己成長の振り返りと今後の実践に向けた意思表示**を目的としています。

教育DX人材育成プログラム：学校改革のニューリーダーへ

全国のトップ実践者が伴走。若手教員を「孤立」から「成長」へと導く半年間。

1. 導入の背景と育成の価値

深刻化する教員不足と若手の離職

- ・全国の不足数：2,086人
- ・採用倍率：2.2倍（過去最低レベル）
- ・若手の課題：多忙で相談相手がおらず、成長実感が得られないまま孤立する構造的課題。

当プログラムが提供する4つの価値

- **全国の同期ネットワーク**：学校の枠を超えた仲間が教員の孤立を防ぎます。
- **トップ教員の伴走**：複数の認定ティーチャーが、キャリアや授業設計を直接サポート。
- **成長の可視化**：「先生スカウター」で社会人基礎力と専門性を客観分析。
- **DXリーダーへの意識**：日常業務のIT化から、あらたな価値創造（DX）への視座へ。

全9回

研修プログラム数

1on1

個別メンタリング



先生スカウターAI：現在地を把握し、自身の強みや課題を交流・内省することで、確実な成長サイクルを回します。

2. 年間スケジュールと研修内容

理論と実践を往還するロードマップ

回数	テーマ	内容・アクション	生成AI活用
第1-2回	導入・学習者主体	オリエンテーション、先生スカウター、ICTを活用した「見方・考え方」を養う授業デザイン。	目標設定
第3-4回	探究授業づくり	【リアル研修】 デジタル×総合的な探究授業の基本、教科探究×生成AIを活用した単元設計ワーク。	アイデア創出
第5回	評価の在り方	ルーブリック評価、指導と評価の一体化。ICTツールを用いた効率的な評価算出法の習得。	学びの整理
第6回	子どもとの関わり	生徒との適切な距離感、寄り添い方のタイプ別アプローチ、周囲の先生方との連携のコツ。	自己理解
第7回	学校改革リーダー	変革をリードするマインドセット。現場で実践可能な「小さなアクション」からの改革プラン策定。	課題整理
第8回	プレゼン資料作成	授業や外部発表で活用できる「伝わる・動かす」プレゼンの基本原則とデザイン実務。	構成案構築
第9回	成果発表会	外部向けオンラインプレゼン。自己成長と今後のアクションプランを言語化し発信。	内容整理

※講師陣：全国で最先端の実践を行う認定ティーチャーが、複数名体制であなたの挑戦をサポートします。

研修講師



日本体育大学柏高等学校:熊井 允人
東北学院大学:稲垣 忠
済美平成中等教育学校:門屋 孝明
かえつ有明中・高等学校:田中 理紗
横浜市立金沢高等学校:斎藤 真彦(斎藤マヨネ)
大手前高松中学・高等学校:合田 意
安田学園中学校・高等学校:中村 亮介
日本体育大学柏高等学校:細川 和哉など

2025年の研修スケジュール

回	日程	形式	テーマ	内容	生成AI活用シーン
0回	5/29 (木) 16:00~17:00	オンライン	オリエンテーション	交流会	
1回	6/27 (金) 16:00~17:00	オンライン	イントロダクション	趣旨説明、現状把握（先生スカウター）、連絡ツール等説明	生成AIで目標設定（言語化）
2回	7/25 (金) 16:00~17:00	オンライン	学習者主体の授業とDX	見方・考え方を養う授業デザイン、ICT授業案作成（宿題）	振り返りに生成AI活用（学びの整理）
3回	8/7 (木) 10:00~12:00	リアル	総合的な探究授業づくり	デジタルを活用した探究授業づくり	振り返りに生成AI活用（学びの整理）
4回	8/7 (木) 13:00~17:00	リアル	教科探究×生成AI授業づくり	生成AIを活用した探究授業＋特活・行事運営ノウハウ	生成AIで授業アイデア創出・ブラッシュアップ
5回	9/12 (金) 16:00~17:00	オンライン	評価の在り方（ICT活用）	ルーブリック評価、指導と評価の一体化	振り返りに生成AI活用（気づき整理）
6回	10/8 (金) 16:00~17:00	オンライン	子どもとの関わり方・寄り添い方	生徒との距離感、周囲の先生との関係性	振り返りに生成AI活用（学びの振り返り）
7回	10/24 (金) 16:00~17:00	オンライン	学校を改革できるニューリーダー入門	学校改革に向けたリーダーシップとは	振り返りに生成AI活用（自己理解・課題整理）
8回	11/5 (水) 16:00~17:00	オンライン	授業にいきるプレゼン資料作成術	授業プレゼンの基本技術と応用	生成AIでプレゼン構成・資料ブラッシュアップ
9回	11/19 (水) 16:00~17:00	オンライン	外部向けオンラインプレゼン	自己成長とアクションプランの発表	生成AIでプレゼン練習・内容整理支援

見やすいユーザーインターフェース



【英語】英会話ト
レーニング（ゆっ
くりスピード）

レベルを選んで英会話のト
レーニングをするモードです。

はじめる



【入試対策】面接
練習トレーニング
（高校入試）

入試に向けた面接練習をし
て、最後にフィードバックを
もらえるモードです。【注...

はじめる



【小論文】小論文
の添削

小論文を添削し、アドバイス
を受けるためのモードです。

はじめる



学びサポーター

はじめる



【24/9/13更新】授
業振り返り

授業後に学びを深めるために
生徒自身が学習を振り返るた
めのモードです。

はじめる



【社会】織田信長
との対話

歴史の学習の一環として、織
田信長と対話ができるモード
です。いろいろ質問してみ...

はじめる

よく利用されているテンプレート（一部）

先生

作成する

各教科の問題を生成する
授業のスライド作成
教材プリント作成
行事案内作成
報告書作成

考える

指導案作成
行事企画作成
所見作成補助
志望理由書添削
学級通信のネタ出し

対話する

GPT-5
授業案のフィードバック
保護者面談練習
先生のお悩み相談
自己分析

生徒

作成する

応用問題の作成
作文構成サポート
プレゼン作成のサポート
志望動機・自己PR文作成サポート
プログラミングサポート

考える

授業の振り返り
英作文・小論文の添削
職業調べ
探究のテーマ出し
実験の手順を考える

対話する

学びサポーター
英会話トレーニング
ディスカッション練習
歴史人物との対話
探究プロジェクト相談

先生に役立つ設計①

先生をサポートする強力な味方 「生徒個別最適」

生徒の性格・興味や学力レベルに合わせて、対話の内容が変わる！

学習ログを分析し、個別サポートができる

STEP①

生徒管理画面で生徒の特徴や検定試験の取得資格等の生徒の個別情報を追加することができる



STEP②

生徒管理画面のオリジナル情報をプロンプトに差し込むことで、生徒の性格・興味・学力に応じた対話が可能に



STEP①

生徒個々の利用履歴を分析しひと目で「学びの状況」を把握できる



STEP②

どのような単語をよく使っているか分析し、「学びの傾向」を把握できる



STEP③

会話分析から「生徒の特徴や関わり方を先生にアドバイス」し、生徒とのコミュニケーションを助ける



利用している生徒・先生からのコメント

生徒からのコメント



- 授業で使ったAIが、難しい説明をわかりやすく説明してくれた。
- 英語の練習問題をスクールAIとたくさんできるから楽しい。
- 織田信長と会話して、時代の様子がしっかり理解することができた。
- 授業の振り返りでAIがアドバイスをくれるから、次に何を頑張ればいいかがわかるようになった。
- 作文のヒントをくれるので前よりも書くことが簡単にできるようになった。
- 英会話練習でAIを使ったら、たくさん話す機会が増えて発音もよくなった気がする。

先生からのコメント



- スクールAIを活用することで、日常業務の効率が大幅に向上した。
- 特に指導案作成やテスト作成など、教員が多く時間を費やす業務に有効活用できた。
- 授業の質向上に集中できる余裕が生まれた。
- 新たな学びの可能性を広げるツールとして期待が高い。
- 他の業務に時間を割くことができた。
- 使い方次第で生徒の成長をサポートできるツールだと感じた。

ご興味がありましたら、以下からお問合せください。

企業名: 株式会社mingaku

電話: 03-4335-3965 平日9:00~18:00

メール: info@mingaku.net

ホームページ: <https://school-ai.mingaku.net/>